

平成 28 年度細胞検査士総会

議案書

I. 報告事項

- | | |
|-------------------------------|----|
| 1. 物故会員 | p1 |
| 2. 細胞検査士会 50 周年記念事業について | p1 |
| 3. 都道府県細胞検査士会との連携について | p1 |
| 4. 子宮頸がん検診委員会からがん検診委員会の変更について | p1 |
| 5. 平成 29-30 年度細胞検査士会役員選挙について | p1 |
| 6. その他 | |

II. 審議事項

- | | | |
|------|---|-----|
| 1号議案 | 平成 27 年度事業報告および収支決算 | p2 |
| 2号議案 | 平成 28 年度事業計画およびこれに伴う予算 | p16 |
| 3号議案 | 「公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士会に関する施行細則」
の変更 | p18 |

III. その他

日時： 平成 28 年 5 月 28 日（土） 13:20-13:50

場所： パシフィコ横浜 メインホール 1F

I. 報告事項

1. 物故会員

松本 律男 殿 (CT 2563) 2015年10月1日ご逝去
河野 正実 殿 (CT 2978) 2015年12月ご逝去

2. 細胞検査士会 50周年記念事業について

3. 都道府県細胞検査士会との連携について

4. 子宮頸がん検診委員会からがん検診委員会の変更について

5. 平成 29-30 年度細胞検査士会役員選挙について

6. その他

II. 審議事項

1号議案 平成 27 年度事業報告および収支決算

1. 平成 27 年度事業報告

1) 会長

① 細胞検査士会新体制がスタート

平成 27 年 6 月 14 日、島根県松江市で開催された第 56 回日本臨床細胞学会春期大会時に行われた細胞検査士会総会から新体制がスタートした。

平成 27 年度～28 年度の細胞検査士会役員会は、会長に伊藤仁、副会長に小松京子氏および片山博徳氏、そして 14 名の各種委員会委員長（6 名の新委員長）を含む 42 名の幹事と 2 名の監事で運営される。ここ数年で着実に世代交代が行われつつある。各種委員長には、総務；平田哲士氏、経理；阿部仁氏、庶務；仲村武氏、規約；深澤政勝氏、渉外；河原明彦氏、編集；阿部英二氏、学術；古田則行氏、国際；南部雅美氏、情報；小川勝成氏、都道府県代表者；遠藤浩之氏、あり方；原田仁稔氏、精度保証；竹中明美氏、子宮頸がん検診；今枝義博氏、50 周年記念事業；三宅真司氏、が就任した。また、監事には 2 期 4 年間お世話になった山岸紀美江氏、安松弘光氏に代わり、上野喜三郎氏、片岡秀夫氏が就任した（資料 1 役員及び委員会一覧）。

② 日本臨床細胞学会新体制スタート

日本臨床細胞学会本体も細胞検査士会同様に第 56 回日本臨床細胞学会春期大会総会より、青木大輔先生が新理事長に就任し、新体制がスタートした。昨年度、細胞検査士会役員選挙とほぼ並行して行われた平成 27 年度～28 年度の日本臨床細胞学会評議員選出、理事選挙では、評議員 444 名（正会員の 8%以内）が選出され（うち細胞検査士は 66 名）、その中から理事選挙が行われ 37 名の理事（うち細胞検査士理事は 3 名）が選出された。技師会員として区別されていた細胞検査士評議員が、学会の公益社団法人化により正会員として選挙に立候補した初の選挙であり、この選挙により伊藤、石井、小松の 3 名の細胞検査士が当選し、今年度から伊藤は総務委員会担当理事および情報処理委員会委員長、石井理事は細胞検査士委員会担当理事、小松理事は国際委員会担当理事として活動しているところである。

③ 日本臨床細胞学会における正会員・準会員について

2015 年 8 月時点での細胞検査士正会員 1031 人、細胞検査士準会員 6234 人であり、細胞検査士における正会員の割合はわずか 14%である。また、医師を含めた全正会員の中での細胞検査士正会

員の割合は18%という低率である。さらに、都道府県別細胞検査士正会員数をみると、2015年3月4日時点で、0名の都道府県が1県、1名が2県、2名が2県、3名が2県である。2016年度はすでに29年度～30年度の評議員選出、理事選挙が行われる。細胞検査士理事はわずかに3名であり、学会運営の側面からは車の両輪と呼ぶにはまだまだ程遠いのが現状である。細胞検査士は日本臨床細胞学会の運営にもっと積極的に関与するべきであり、学会内での影響力・発言力を高めるためにも今後もさまざまな機会を通じて、正会員としての登録をお願いし、評議員、理事を輩出することが重要である。

④ 教育活動

一昨年より、日本臨床細胞学会細胞検査士ワークショップの実施委員長を細胞検査士が務めるようになった。本年度も福井と福岡において開催された第70回と第71回細胞検査士ワークショップの実施委員長を細胞検査士が務め、それぞれ盛会裏に終えることができた。細胞検査士教育セミナーおよび細胞検査士養成講習会（2週間コース）は2007年から細胞検査士が実施委員長を務めており、順調に企画・運営され、実績を確実に積み重ねつつある。ただ、近年、細胞検査士教育セミナー参加者が非常に多くなってきており、今年度は1100名を超える申し込みがあり、現在使用している会場では対応不可能であり、今後、会場の確保が大きな問題となり、対応を考えなければならない。

⑤ 公益活動

細胞検査士会が積極的に協力しているLove49による子宮頸がん検診の啓発事業に関して、昨年度から各都道府県の連携組織（各都道府県臨床細胞学会あるいは旧支部会）を通じて日本臨床細胞学会へ支援金（5万円を上限とする）を申請できるようになった。この活動をするための一助となっており、たいへん喜ばしいことである。日本臨床細胞学会が行う事業はすべて公益事業と認められているが、その中でも全国の各都道府県細胞検査士会と細胞検査士会渉外委員会を中心とした本活動は、一般市民への直接的公益性が高い事業として引き続き積極的に推進し、検診の重要性について一般市民への啓発をますます活発化していく必要がある。来年度は、47都道府県すべてが参加した啓発活動が予定されており、ますます活性化していくことが期待される。

⑥ 委員会活動

委員会活動については、各委員長による詳細な報告があるので参照されたい。細胞検査士会創立50周年記念事業に関してのみ記述する。50周年記念事業は、2017年、福岡で開催される第56回日本臨床細胞学会秋期大会時の2017年11月19日（日）に記念式典、祝賀会を開催することが決定した。現在、創立50周年記念事業実施要綱案組織（案）を策定中で、これから本格的に始動する。最後に、50周年という細胞検査士会創立以来最も大きな節目を迎えるが、私たちは現在をしっかりみつめ、そして次世代へ確実にバトンを繋がないといけない。多くの会員に出席していただき、盛会になるよう、何卒皆さまの絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

2) 総務委員会

① 第1回役員会：2015年6月14日（日）松江テルサ 4階

議案募集、議案書作成、議事進行

② 細胞検査士会定時総会：2015年6月14日（日）松江テルサ 1階

議事進行

③ 第2回細胞検査士会役員会：2015年11月20日（金）名古屋都市センター

議案募集、議案書作成、議事進行

④細胞検査士会委員長会議：2016年1月24日（日）学会事務局

次第作成と議事進行

⑤役員会みなし決議

議案：平成28年度事業計画及びこれに伴う予算書

2016年2月19日に提案し、電磁的に幹事全員45名の賛成を得るとともに、監事からの意義がないことを確認し、2月24日役員会での決議があったとみなした。

⑥各委員会間の情報伝達と業務調整

3) 経理委員会

① 平成26年度各委員会の収支報告書、証拠書類（領収書等）を確認し、細胞検査士会会計報告書を作成。（4月8日、日本臨床細胞学会事務局に於いて）

② 細胞検査士会会計報告書を会長に報告後、細胞検査士会監事による会計および業務監査を受けた。（4月11日、日本臨床細胞学会事務局に於いて）

③ 監査終了後、監事より会計監査報告書、業務監査報告書を受領し、会長に提出。会計に関する資料および事業報告書、業監査報告書を学会へ送付。

④ 会長に代わり役員会、総会および会報などに会計報告実施。

⑤ 細則等の改訂について経理委員会を開催（8月22日）。

⑥ 平成27年、各委員会会計実施の現状

立て替え金請求を実施した委員会

本部会計、経理委員会、渉外委員会、精度保証委員会、編集委員会、庶務委員会、都道府県代表者委員会、仮払金請求を実施した委員会、

精度保証委員会（セルフアセスメント会議）、

学術委員会（WS：熊本）、（養成WS：大阪、東京）、（第1回・第2回口腔・子宮頸部WS）

学会から直接経費（請求金）を支払った委員会

編集委員会、総務委員会、本部会計、子宮頸がん、渉外委員会、経理委員会、情報委員会、国際委員会、精度保証委員会、学術委員会

⑦ 細胞検査士会 平成28年度（2016年）予算案作成。

会長に提出、委員長会議、電子化を用いた役員会に報告

⑧ 総括：法人化に伴い現在では、現金の出納が学会事務局で実施されているため、各委員長の手元に現金予算がない分、立て替え金による処理などが多くなっている。この点については、委員長の負担軽減を目指すべく今後の会計方法について更に検討していきたい。細胞検査士会ワークショップ（以下WS）は、担当する学術委員会において本会の事業費として収支が行われている。計画的に会計をした事により、その精算も正確かつ速くなった。平成28年度からは精度保証委員会も事業費としての収支が行われるようになった。今後より良い会計の方策（利便性）を学会事務局と相談しながら検討を行う。

50周年記念事業については、学会で専用の準備口座を作成して管理する。開催の1年前には具体的な予算の作成が必要となり、一般の会計とは別に管理する。そのためには、早い時点で具体性のある50周年記念事業の予算案作成が必要である。学会および会計事務所と綿密に相談し、計画的に会務を実施していく。

4) 庶務委員会

① 庶務委員会の業務に沿った活動

- (1) 役員名簿作成, 役員メーリングリストの作成. (2) 総会, 役員会, 委員長会議の開催
- (3) 総会, 役員会の議事録作成と管理. (4) 印鑑類の管理. (5) 文書類の発行と管理.
- (6) 会員の慶弔に関すること.

② 庶務委員会各委員の担当業務

仲村委員長：庶務業務の統括, 会印の管理, 役員委嘱状の発行, 講師等委嘱状の発行,
子宮の日趣意書の発行, 議事録案の確認, HP への掲載依頼,
庶務委員会事業計画・報告の立案, 庶務委員会の出納簿管理・報告,
庶務委員会予算案の立案, 慶弔対応
笹井委員：委員長補佐, 役員会の出欠席確認, 役員会運営補佐, 委員長会議運営補佐
川口委員, 丸川委員, 井上委員：役員会運営補佐, 議事録作成

③ 庶務委員会の主な業務の統括

- (1) 議事録作成：議案を検査士会 HP に掲載し, 議事録には議案審議結果を簡明に記述した。役員会で前役員会の議事録案を確認し, 議事録とした。
- (2) 子宮の日趣意書：pdf ファイルで都道府県代表者に ML リストで配信した。
- (3) 委嘱状：学術のセミナーなど多くの講師, 実務委員に委嘱状を発行した。
都道府県代表者会議に出席する都道府県代表者に会議出席の依頼状を発行した。
- (4) 委嘱状だけでも 400 件を数え, 一人では作成が大変であり, 今年度は臨時雇賃金を予算計上した。

5) 規約委員会

① 継続審議：平成 26 年度第 3 回細胞検査士会役員会

- (1) 「日本細胞診断学推進協会細胞検査士会会計処理規定」から「細胞検査士会会計に関する細則」への変更（経理）
- (2) 「会計処理規定運用細則」から「細胞検査士会会計に関する運用細則」への変更（経理）
- (3) 「各委員会の会計処理指針」から「細胞検査士会各委員会の会計処理要綱」への変更（経理）
- (4) 「経理委員会の会計処理指針」から「経理委員会会計処理要綱」への変更（経理）

② 可決成立：平成 27 年度第 2 回細胞検査士会役員会

- (1) 「細胞検査士会ホームページ記事掲載依頼要綱」の廃止（情報）
- (2) 「日本細胞診断学推進協会細胞検査士会会計処理規定」から「細胞検査士会会計に関する細則」への変更（経理）
- (3) 「会計処理規定運用細則」の廃止（経理） (4) 「各委員会の会計処理指針」の廃止（経理）
- (5) 「経理委員会の会計処理指針」の廃止（経理）
- (6) 「学術事業特別会計運用細則」の廃止（経理）
- (7) 「委員会に関する細則」の一部変更（総務）
- (8) 「委員長会議に関する運用細則」の一部変更（総務）
- (9) 「委員会業務分担要綱」の変更（総務）

③ 継続審議：平成 27 年度第 2 回細胞検査士会役員会

「公益社団法人 日本臨床細胞学会細胞検査士会に関する施行細則」の変更（総務）

- ④ 業務目標：役員会にて承認された新規則類の管理を行う。また, 各委員会から要望される規則類の新規制定や改廃に当たり, 細胞学会の定款, 定款細則, 施行細則などの規則類やその他制度との整合性を検討した上で役員会議題として提案していく。

また、廃止となった旧規則類に代わるものとして、担当委員会に内規または申し合わせ事項の作成を依頼中である。現在は都道府県細胞検査士会との連携に関する規則類の整備を進めており、次回の細胞検査士会役員会への議案提出を目指している。

そして、細胞検査士と細胞検査士会にとって、より良い規則類と制度を構築できるよう努力していく。

- ⑤ 反省：日本臨床細胞学会が公益社団法人となったことに伴い、細胞検査士会の規則類も変更しなければならないものが多く存在するが、今年度改正できたものはその一部である。今後も各委員会の協力を得て改正作業を進めていきたい。

6) 渉外委員会

- ① 子宮の日の活動：2015 Love49 プロジェクト, 42 都道府県 (89.0%) が参加。

北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 山形県, 新潟県, 長野県, 茨城県, 群馬県, 埼玉県, 東京都, 千葉県, 神奈川県, 栃木県, 富山県, 石川県, 福井県, 愛知県, 静岡県, 岐阜県, 三重県, 滋賀県, 兵庫県, 奈良県, 大阪府, 和歌山県, 京都府, 広島県, 山口県, 鳥取県, 岡山県, 島根県, 愛媛県, 香川県, 徳島県, 福岡県, 佐賀県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 長崎県。

細胞検査士会がポケットティッシュ 4 万 5 千個作製し都道府県へ配送した。

- ② 平成 26 年度細胞検査士会公益広報活動調査 (調査期間：4 月から 9 月, 回答率 91%)

(1) 啓発・社会活動の報告 (資料 2 渉外委員会)

2014 Love49 キャンペーン実施都道府県数：39 都道府県 (83.0%)

総イベント数：93 イベント

参加者数：約 2406 名 (細胞検査士 1065 名, 臨床検査技師 217 名, 医師 43 名,

その他「ピンクリボンキャンペーンなど」1081 名)

(2) 育成・養成活動の報告

開催数：152 (複数開催した都道府県あり)

参加者数：約 3727 名 (細胞検査士 1916 名, 臨床検査技師 1424 名, 医師 215 名,

その他 119 名)

(3) 子宮頸がん検診推進活動支援金のアンケート報告

子宮頸がん検診推進活動を申請状況：平成 26 年度分申請あり：32/43 都道府県

平成 27 年度分申請あり：35/43 都道府県

金額 (5 万円) の妥当性：妥当であると回答あり：33/43 都道府県

- ③ 第 56 回日本臨床細胞学会総会および第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会 (6 月, 11 月) に子宮頸がん検診委員会と共同で LOVE49 キャンペーンのパネル展示を行った。

第 56 回日本臨床細胞学会総会担当者：山本秀巨 前渉外委員

第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会担当者：小林幸弘委員, 田所猛委員

- ④ 「第 14 回子宮頸がん予防・啓発連絡会議参加報告」2015 年 4 月 8 日吉田志緒子委員

- ⑤ 子宮の日全国アクション 2015 報告会の実施

第 56 回日本臨床細胞学会総会 (島根：2015 年 6 月 14 日 (日) 10:20~11:50) にて、細胞検査士と専門医が 5 演題を報告。第 57 回日本臨床細胞学会総会 (横浜) においても 2016 LOVE49 報告会を行う予定。

- ⑥ 細胞検査士パンフレット「がん診断の担い手細胞検査士第 3 版」の配布

4-10月末までに、4施設に1,850部数を郵送。今年度は発送部数が少ない。印刷部数と郵送費がある限り随時実施する。

⑦ 第11回がん患者大集会の会場協力（2015.11.15）

メイン会場：東京医科歯科大学 M&D タワー鈴木章夫講堂、9名の東京都細胞検査士の協力を得た。

⑧ 2016 Love49 プロジェクトの準備（2015.12-2016.3月）

趣意書発行を伊藤会長へ要望し、庶務委員会から各都道府県へ郵送した。

2016年4月9日前後に、特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会と共に、子宮頸がん検診啓発活動を行うための準備を行っている。特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会は2016Love49全国アクションに関する後援を厚生労働省から得ている（平成27年12月16日付）。昨年と同様に2016Love49キャンペーンで配布する細胞検査士会オリジナルポケットティッシュを作製した。「受けましょう、子宮頸がん検診」（増量予定）。

⑨ 平成27年度渉外委員会事業の総括

今年度の渉外委員会は、昨年度に引き続き学会時のLove49報告会、パネル展示やがん患者大集会などへの参加協力を行った。子宮頸がん検診の啓発事業であるLove49キャンペーンでは、細胞検査士会からのオリジナルポケットティッシュ「受けましょう、子宮頸がん検診」を全国の一般の方々へ届けることができた。また、がん患者大集会での連絡体制の不備は、伊藤会長と共に委員会内で整備することができた。一方、昨年度の課題であった、細胞検査士会HPにおけるLove49活動関連ページの充実が行えなかった。多くの会員または一般の方々がHPをみて、「細胞検査士会が伝えたいこと」を感じて頂けるHPを作っていきたい。

7) 編集委員会：細胞検査士会会報発行

会報(第58号, 59号)の編集ならびに発行を行った。

会報の発行時期について細胞検査士会役員会の承諾を得て、第60号以降から7月と12月に変更することになった。それにより会長・副会長ならびに役員の変更があった場合、会員に対し速やかに伝えることができることや学会開催場所や日時が半年前から把握することができるので計画を立てやすくなるなどの利点がある。また総会や役員会の議案書についてはHP掲載、議事録のみ会報に掲載することで発行にかかる経費削減が期待できる。

8) 学術委員会

① 第1回 口腔・子宮頸部ワークショップ

平成28年2月27日（大阪）参加人数：講義+実習42名、講義のみ2名

② 第2回 口腔・子宮頸部ワークショップ

平成28年2月28日（大阪）参加人数：講義+実習33名、講義のみ2名

③確認報告事項

(1) 業務の一部が度精度保証委員会へ移行し、また前学術委員会の残務があったため、実際の活動が口腔・子宮頸部ワークショップのみとなった。

(2) ワークショップの実習で、顕微鏡に余裕があったので、標本を時間制限で回すのを止め、時間内自由検鏡とし、質問も常時可能とした。好評であった。

好評理由 ・興味有る例に時間をかけて鏡検することができた
・時間制限が無いので、自分で時間調整できた
・質問に対し、十分な時間をかけて解説して頂いた

9) 国際委員会

国際委員会の恒例行事として、日・台・韓細胞検査士合同セミナーがあります。

今年の2月もしくは3月に第8回日・台・韓細胞検査士合同セミナーを台湾にて開催する予定であったが、今年5月横浜にて第19回国際細胞学会が開催され、国際的イベントが続くため、今年は見送り、2017年2月18日に台湾にて開催する予定とした。今後の日・台・韓細胞検査士合同セミナーのあり方を考える上において視察を兼ねて、2015年11月に韓国の麗水にて開催された第14回日韓細胞診合同会議に参加した。

10) 情報委員会

① 情報委員会の新メンバーにおける業務分担の決定

6月新メンバーでの掲載担当者を決定し開始。

委員長会議メーリングリストを構築し、6月20日より運用を開始。

7月新しい管理分担と運用を構築

8月細胞検査士会HPをWord Pressを用いて管理

情報委員会専用ML<ct_jyouhou@ctjisc.com>にて掲載依頼を指示。

求人情報ページへの掲載管理

求人情報掲載専用ML<ctjob_offer@ctjisc.com>を用いて掲載依頼を指示。

これらの2本立てMLにて、担当者毎の業務分けを実施。

② 求人情報コンテンツのサイト内管理の構築

7月より現HPサーバーでの管理に移行し、新運用を開始

③ ホームページの更新実績

(1) 平成27年6月、求人情報 6件

- ・平成27-28年度新役員及び委員会名簿を掲載
- ・経理委員会 新着情報：平成26年度会計報告、平成27年度予算
- ・庶務委員会 新着情報：平成27年度事業計画

(2) 求人情報 7件

- ・新着情報：細胞学会リニューアルのお知らせ
第69回(東京)・70回(神戸)細胞検査士教育セミナーのプログラム掲載
- ・新会長挨拶
- ・細胞検査士会会報：マイ・レクチャー記事 「甲状腺細胞診とベセスダシステム」
- ・経理委員会新着情報：平成26年度会計報告、平成27年度予算

(3) 平成27年8月、求人情報 13件

- ・子宮頸がん検診委員会 新着情報：子宮頸がん委員会の活動目標
- ・セミナー・ワークショップ：第2回細胞検査士養成ワークショップ
- ・学術情報：第4回びわ湖病理細胞テュートリアル 液状化検体細胞診断講習会 第2回
- ・情報委員会 新着情報：平成27年度事業計画

(4) 平成27年9月、求人情報 6件

- ・新着情報：子宮頸がんセミナーのお知らせ

(5) 平成27年10月、求人情報 7件

- ・セミナー・ワークショップ：第1回・2回細胞検査士会ワークショップ
- ・2015LOVE49(啓発活動)

- ・新着情報：第2回役員会及び都道府県代表者会議 開催のお知らせ
- (6) 平成27年11月, 求人情報 12件, 平成27年度 役員会資料を掲載
 - ・議事録（会報掲載予定）：平成26年度 第3回細胞検査士会役員会議議事録
平成27年度 細胞検査士会総会議事録
平成27年度 第1回細胞検査士会役員会議事録
 - ・議案書：平成26年度_第3回 細胞検査士会役員議案書
平成27年度_細胞検査士会総会議案書原案
平成27年度_細胞検査士会第1回役員会議案書
平成27年度 第2回役員会議案書
- (7) 平成27年12月, 求人情報 13件, 平成27年度 掲載・採用実績を掲載
 - ・学術情報：第13回肺癌検診喀痰細胞診セミナー in Miyagi のお知らせ
第1回・第2回細胞検査士会ワークショップ抄録を掲載
講演抄録 関根浄治・秀島克巳
「口腔の Potentially malignant disorders (PMDs)の臨床像と細胞判定」
 - ・会員専用：細胞検査士会の改定細則等を掲載
 - ・リンク：学会・支部・連合会を追記更新
- (8) 平成28年1月 求人情報 5件
 - ・学術情報：第71回細胞検査士ワークショップ 受講者募集のお知らせ
第1回滋賀液状化検体細胞診（LBC）研修会のご案内
第14回内膜細胞診勉強会のご案内
第13回肺癌検診喀痰細胞診セミナーin Miyagi 中止のお知らせ
 - ・セミナー・ワークショップ
第1回・第2回細胞検査士会ワークショップのお知らせに下記抄録を掲載
講演抄録 棟方 哲「WH02014 子宮頸部病変の変更点と細胞診」
 - ・会報マイレクチャー記事：松本慎二 著 細胞診標本を用いた p16-FISH 法を掲載
- (9) 平成28年2月 求人情報 9件
 - ・Love49（啓発活動）
 - ・セミナー・ワークショップ
第1回・第2回細胞検査士会ワークショップに抄録を掲載
講演抄録 佐藤由紀子 「口腔・咽頭の病理診断, 細胞診断」
 - ・細胞検査士会支部：東京都細胞検査士会を更新
- (10) 平成28年3月, 求人情報 9件
- ④ intercyto.com（インターネットサイトロジーHP）サーバー移行と再構築
 - ・当サイトのCMSシステム化と年度内リニューアル公開を目標に準備中
現在, 過去データの移行と新デザインサイトの構築を進めている。教育的サイトとしてリニューアルオープンを企画しているが, 当初計画より, 数箇月対応が遅れている。
 - ・intercyto.comの運用
掲載と運用については, サイト完成後, 計画する予定である。
課題：次年度においては, 優先してオープンを進める予定である。
- ⑤ 委員長会議メーリングリストの運用・管理

6月20日 委員長会議新 ML<icyto@ctjsc.com>を開設

会長, 副会長, 各委員長及び幹事 19名を登録

*細胞検査士会に関する施行細則第10条2「監事は、この会の会計及び事業を監査する」
委員長 ML, 役員会 ML, 都道府県代表者 ML へ参加していただいた。

現在, 特に支障なく運用できている。

⑥ 役員会会議と都道府県代表者会議に関する新メーリングリストの移行準備

・次年度より, 役員会議及び都道府県代表者会議に関しても, 同一サーバを用いての運用に変更する予定。

・現在, 両者の ML のメンバー登録を済ませ, バックアップ構築を完了。

・当会 ML において Yahoo メールでは, 受信はできるが, 返信ではじかれる事がある。

理由: Yahoo メールが spamcop というところのブラックリストに載っている。

<http://www.spamcop.net/bl.shtml?183.79.56.136>

⑦ 運細 HP ガイドラインと掲載のルール化

方針を「細胞検査士会ホームページに関する基本方針」から「情報委員会内規ホームページ及びメーリングリストに関する取り決め」へ変更した。

⑧ 学術情報への掲載について

「細胞検査士会ホームページ掲載申込書」から「情報委員会内規細胞検査士会ホームページ掲載申込書」に変更した。学会や細胞検査士会で開催するものは基本的にホームページに掲載するが, その他の研修会などは掲載申込書で申請していただき, 掲載の許可・確認を会長, 総務委員長, 情報委員長で行うことにした。

*次年度は, intercyto.com の本格的な稼働と ML 及び HP の安定した継続運用を目指す。

図) ML 運用と設定状況

サクラネット 役員会ML <ctfellow@sl.sakura.ne.jp>	現在旧役員会MLで使用, 平成27年度議事録作成後運用停止(今期の契約は済み)	
トラバント 旧役員会ML	最後の役員会の議事録作成まで使用する(今期の作成は不要)	次回役員切り替え時に対応
トラバント 新役員会ML ctfellow@ctjsc.com	→送受信の試験後運用開始 2015年7月8日 メンバー登録設定	設定済
トラバント 委員長ML icyto@ctjsc.com	運用中 2015年6月20日より運用	管理中
サクラネット ↓ トラバント 都道府県代表者ML <todfuken@sl.sakura.ne.jp> → todfuken@ctjsc.com	契約期間は2016年6月30日まで →次年度 試験後運用開始 2015年9月20日 メンバー登録設定	設定済

株式会社トラバント Torapants Inc.
福士浩悦 fukushi@torapants.co.jp
Tel 018-883-1909 Fax 018-883-1907
URL <http://www.torapants.co.jp/>

11) 都道府県細胞検査士会代表者委員会

- ① 都道府県代表者会議定期連絡メール配信
- ② 平成 27 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- ③ 平成 27 年度第 2 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- ④ 都道府県細胞検査士会との連携に関する規則類の整備に関する検討

12) あり方委員会

- 平成 27 年 8 月 細胞検査士アンケート実施内容検討
- 平成 27 年 9 月 アンケート案の作成と実施方法を委員会で検討
- 平成 27 年 11 月 アンケート実施案を細胞検査士役員会、都道府県代表者委員会にて説明
- 平成 28 年 1 月 細胞検査士委員長会議にて、実施方法の確認、修正案の再検討
- 平成 28 年 3 月 役員会 ML で細胞検査士アンケート最終案の承認

13) 精度保証委員会

- ①平成 27 年度地域支援「初心者細胞検査士養成ワークショップ」
平成 27 年 4 月 19 日（金沢）参加人数：52 名
- ②第 5 回・6 回「画像所見と細胞像 呼吸器と消化器（唾液腺・膵臓等）」
平成 27 年 5 月 23 日・24 日（熊本）参加人数：第 5 回 58 名，第 6 回 26 名
- ③第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）
平成 27 年 6 月 13 日・14 日（島根）
 - (1) 細胞検査士会要望教育シンポジウム（癌取扱い規約にそった組織像と細胞像）
 - (2) ヤング committee ワークショップ（LBC 検体の標本作製と応用）
 - (3) ヤングポスターセッション「わからん会」
- ④ 第 69 回・70 回 細胞検査士教育セミナー セルフアセスメント問題作成会議
平成 27 年 7 月 16 日（大阪）（前年度学術委員会・精度保証委員会）
- ⑤ 第 69 回・70 回 細胞検査士教育セミナー セルフアセスメント問題作成会議
平成 27 年 8 月 1 日（東京）（前年度学術委員会・精度保証委員会）
- ⑥ 第 69 回 細胞検査士教育セミナーの実施協力
平成 27 年 8 月 29 日・30 日（東京）
 - (1) セルフアセスメント（前年度学術委員会・精度保証委員会連携事業）
 - (2) ワークショップ（口腔領域の細胞診）
- ⑦ 第 70 回 細胞検査士教育セミナーの実施協力
平成 27 年 9 月 5 日・6 日（神戸）
 - (1) セルフアセスメント（前年度学術委員会・精度保証委員会連携事業）
 - (2) ワークショップ（口腔領域の組織と細胞像）
- ⑧ 平成 27 年度 細胞検査士養成ワークショップ 問題作成会議
平成 27 年 9 月 26 日（大阪）
- ⑨ 平成 27 年度 細胞検査士養成ワークショップ
平成 27 年 10 月 10 日・11 日（大阪） 参加人数：116 名
- ⑩ 平成 27 年度 細胞検査士養成ワークショップ
平成 27 年 10 月 17 日・18 日（東京） 参加人数：108 名

14) 子宮頸がん検診委員会

① 運営部

- (1) 各都道府県委員の変更確認し、平成 27・28 年度子宮頸がん検診委員会の委員名簿を作成した。
- (2) 第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（松江）に子宮頸がん検診委員会を開催し、活動報告、活動計画、その他の検討事項等を審議して議事録を作成した。
- (3) 第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（松江）、第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会（名古屋）において開催した啓発パネル展の掲示物の保管・配送（保管は学会開催地の委員、輸送先は次回学会場）を行った。

② 啓発部

- (1) 第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（松江）学会場にて啓発パネル展示を行った。
- (2) 第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会（名古屋）の学会場にて啓発パネル展示を行った。

③ 調査研究部

- (1) 第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（松江）において、学会場での啓発パネル展示に一般市民向けアンケートと子宮頸がん検診の現況調査の集計結果を展示報告した。
- (2) 第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（松江）において、「子宮の日 全国アクション 2015 報告会」で、子宮頸がん検診の報告様式について発表した。
- (3) 第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会（名古屋）において、啓発パネル展示に一般市民向けアンケートと Love49 活動についてのアンケートの集計結果を展示報告した。

15) 細胞検査士会創立 50 周年記念事業準備委員会

① 事業計画

6 つの小委員会（記念式典準備小委員会、功労賞選考準備小委員会、公開講座準備小委員会、記念誌発刊準備小委員会、検査展準備小委員会、予算準備小委員会）で、引き続き各企画を詳細に検討する。

② 事業報告

(1) 予算準備小委員会

都道府県代表者会議メーリングリストを使用し、30 周年と 40 周年記念事業での協賛企業・団体の一覧表を配布した。各都道府県代表者の皆様に、関連する企業・団体の有無、住所、連絡先等の確認、ならびにリスト上にない企業や団体の追加をお願いした。

(2) 功労賞選考準備小委員会

各都道府県から推薦いただく功労賞受賞予定者数を検討した。

[初期設定]

- ・各都道府県、最低 1 名以上の推薦とする。
- ・会員数 100 名に 1 名とし、十の位を四捨五入する。

[調整後の最終枠]

- ・会員数 100 名に 1 名とし、一の位を四捨五入した後、十の位を四捨五入する。
- ・会員数の把握時期と方法については、今後の検討課題。

都道府県	会員数 (人)	推薦枠 (初期設定)	調整枠 (+, -)	推薦枠 (最終)
北海道	310	3		3
青森県	58	1		1
岩手県	59	1		1
宮城県	115	1		1
秋田県	71	1		1
山形県	61	1		1
福島県	95	1		1
茨城県	117	1		1
栃木県	80	1		1
群馬県	131	1		1
埼玉県	306	3		3
千葉県	283	3		3
東京都	950	10		10
神奈川県	434	4		4
山梨県	43	1		1
長野県	148	1	1	2
新潟県	147	1	1	2
富山県	72	1		1
石川県	88	1		1
福井県	45	1		1
岐阜県	105	1		1
静岡県	168	2		2
愛知県	352	4		4
三重県	72	1		1
滋賀県	64	1		1
京都府	203	2		2
大阪府	468	5		5
兵庫県	295	3		3
奈良県	40	1		1
和歌山県	33	1		1
鳥取県	37	1		1
島根県	39	1		1
岡山県	145	1	1	2
広島県	185	2		2
山口県	114	1		1
徳島県	27	1		1

香川県	87	1		1
愛媛県	60	1		1
高知県	24	1		1
福岡県	386	4		4
佐賀県	45	1		1
長崎県	101	1		1
熊本県	131	1		1
大分県	83	1		1
宮崎県	40	1		1
鹿児島県	70	1		1
沖縄県	79	1		1
計	7066	80	3	83

(3) 確認事項

準備委員会の任期は2017年春までで、記念事業は2017年秋に決定された。準備委員会が検討した企画を引き継ぎ、事業を実現するための組織が必要である。

- ・30周年記念事業を参考にし、「記念事業会」を設け、実務は「実行委員会」と「表彰選考委員会」が担当する。
- ・「記念事業会」の軸となる構成員は、伊藤会長、小松副会長、片山副会長、三宅50周年記念事業準備委員長、平田総務委員長、仲村庶務委員長、阿部英二編集委員長とし、実施要綱作成、組織構成、人選にあたる。
- ・構成員は役員任期とは異なる任期とする。
- ・実施要綱、組織構成、人選を2016年春の役員会までに決定する。

③ 総括

50周年記念事業の開催時期と場所が決定し、企画準備に一層拍車がかかる時期を迎えた。残念ながら、今年度の各小委員会での検討は、消極的な印象を受ける。

しかし、次年度からは作成された実施要綱に基づき、準備委員会から「記念事業会」を中心とした新しい組織へのスムーズな引き継ぎと、より具体的な企画を検討していかなければいけない。今後も、各委員ならびに都道府県代表者皆様の力をお借りして、今まで以上に活発な企画準備を進めていきたい。

2. 平成27年度会計報告

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 平成27年度(2015年)会計報告

収入の部

科目	a. 決算額	備考
参加費	3,550,000	細胞検査士会ワークショップ
入会金、年会費	7,263,000	
郵送費、集金事務費	399,957	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)2年分
前年度からの繰越金	39,036,780	*) 50周年記念事業準備金5,001,000円含む
合計	50,249,737	

*) 50周年記念事業準備金: 検査士会記念準備金の口座へ移動
三菱東京UFJ銀行 店番013 口座番号 0514406

支出の部

科目	管 理 費													事業費	合計
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	精度保証	渉外	都道府県代表	規約	あり方	*) 50周年記念事業準備金	国際		
通信運搬費	5,160	4,320	648,680	920	33,648	1,296,501	140	155,125	4,566	-	-	-	-	11,181	2,160,241
旅費交通費	214,261	-	-	106,696	-	-	248,132	-	-	-	-	-	-	1,089,312	1,658,401
印刷製本費	12,976	-	-	-	-	1,546,948	17,928	364,500	-	-	-	-	-	936,668	2,879,020
消耗品費	972	-	-	-	8,028	6,145	-	9,250	-	-	-	-	-	10,155	34,550
消耗什器備品費	-	-	-	2,030	-	65,068	-	-	-	-	-	-	-	21,560	88,658
臨時雇賃金	-	-	-	-	-	-	17,958	-	-	-	-	-	-	161,622	179,580
会議費	369,007	-	-	6,576	-	-	31,741	19,000	86,000	-	-	-	111,000	275,417	898,741
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
会場費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63,700	63,700
交際接待費	70,200	-	-	-	8,976	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79,176
諸謝金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	916,787	916,787
雑費	288,404	-	864	1,944	972	5,076	972	2,160	1,404	-	-	-	540	23,976	326,312
支払負担金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,000,000	-	-	2,000,000
a. 決算額	960,980	4,320	649,544	118,166	51,624	2,919,738	316,871	550,035	91,970	-	-	2,000,000	111,540	3,510,378	11,285,166
b. 予算額	1,367,000	246,800	752,500	129,000	68,000	3,038,000	250,000	680,000	130,000	28,000	50,000	2,000,000	230,000	4,906,400	13,875,700
(b-a)増減	406,020	242,480	102,956	10,834	16,376	118,262	-66,871	129,965	38,030	28,000	50,000	-	118,460	1,396,022	2,590,534

科 目	金 額
収入の部	
今年度(2015年)総収入	11,212,957
前年からの繰越金	39,036,780
(うち記念事業分)	(5,001,000)
収入合計	50,249,737
支出の部	
管理費・事業費	9,285,166
50周年記念事業準備金 (次年度繰越金記念事業へ)	2,000,000
支出合計	11,285,166
次年度繰越金 (うち記念事業分)	40,964,571 (7,001,000)

以上の通り、平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の
細胞検査士会会計報告をいたします。

平成28年3月31日

細胞検査士会

会計担当

阿部 仁

同

会長

伊藤 仁



監 査 報 告 書

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会
会長 伊藤 仁 殿

平成 28 年 3 月 31 日
公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会

監 事 上野喜三郎 

監 事 片岡秀夫 

平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の会計及び業務の監査を行いましたので、細胞検査士会監事 2 名の監査報告書を添えて報告いたします。監査・報告内容は以下の通りです。

以下の監査を行った。

- 1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算、書類が正確かつ適正であることを認めた。
- 2) 業務監査については、公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会役員会、各委員会及びその他の業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧を行った結果、業務執行が適正であることを認めた。

関係書類について

- 1) 細胞検査士会経理委員会が作成した会計書類を閲覧し、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況、及び財政状況が正しく示されているものと認めた。
- 2) 公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会の職務執行に関する不正の行為、又は、法令もしくは公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会諸規則に違反する重大な事実はないと認める。

補足事項

- ※繰越金については、有効な活用法を検討してほしい。
- ※予算案と決算額の乖離が大きくなるような予算案を作成してほしい。
- ※各委員会からの予算案および会計報告の提出期限を厳守してほしい。
- ※公益社団法人化に伴いこれまでの諸規則を更に検討してほしい。
- ※さらに公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会委員は、本来業務を持ちながら本会会員のために時間的・精神的に活動したことを認める。

以上

2号議案 平成28年度事業計画およびこれに伴う予算

1. 平成28年度事業計画

- 1) 本部：会員の細胞学的知識の向上，技術の研鑽ならびに，公益社団法人日本臨床細胞学会（細胞学会）事業に協力し，細胞検査士の社会的地位の確立を図ることにより社会への貢献を図る。
 - ① 各委員会事業の計画，実施，進捗の管理
 - ② 各委員会事業の結果を会員へ報告
 - ③ 公益社団法人日本臨床細胞学会の動向を会員へ報告
 - ④ 総会，役員会，委員長会議の開催
 - ⑥ 役員選挙の実施
 - ⑦ 『子宮の日』の活動をはじめとする当会の公益活動内容を細胞学会に報告し理解を求める
 - ⑧ 細胞検査士が主体となる新たな公益活動を実施する
 - ⑨ 細胞学会各種委員会会務への協力
 - ⑩ 細胞検査士ワークショップ（実施委員長）への協力
平成28年3月12～13日 福岡 南部 雅美
平成28年7月23～24日 北海道 田上 稔
 - ⑪ 細胞検査士教育セミナー（実施委員長）への協力
平成28年8月27～28日 東京 片山 博徳
平成28年9月10～11日 関西 矢羽田 一信
 - ⑫ 細胞学会学術集会への協力
平成28年5月28～29日 第57回日本臨床細胞学会総会 横浜
平成28年5月29日～6月1日 ICC（国際細胞学会議） 横浜
平成28年11月18～19日 第55回日本臨床細胞学会秋期大会 別府
 - ⑬ 細胞検査士資格認定試験実施の協力
 - ⑭ 細胞検査士養成事業（細胞検査士養成講習会：実施委員長）協力
平成28年7月4日～2週間 東京医学技術専門学校 伊藤 仁
 - ⑭ 細胞検査士会創立50周年記念事業
- 2) 総務委員会：委員会業務分担要綱に基づき，当会の円滑な運営に努める
- 3) 経理委員会：委員会業務分担要綱に基づき，会計に関する円滑な運営に努める
- 4) 庶務委員会：委員会業務分担要綱に基づき，庶務に関する円滑な運営に努める
- 5) 規約委員会：各委員会からの要望を受け，本法人規則類に準じて細胞検査士会規則類の議案作成を行い，役員会，総会の決議によって定められた規則類を管理する
- 6) 渉外委員会
 - ① 子宮の日の活動：2016Love49 プロジェクト
 - ② 平成27年度細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会事業と育成・養成事業）
 - ③ 子宮の日全国アクション-2016 報告会（日本臨床細胞学会総会；横浜）
 - ④ 日本臨床細胞学会総会および秋期大会（5月，11月）におけるパネル展示
 - ⑤ 日本子宮頸がん予防・啓発連絡会議への参加とがん患者大集会の会場協力
 - ⑥ 細胞検査士会ホームページへのLove49活動関連ページへの取り組み
- 7) 編集委員会：細胞検査士会会報発行

- ① 第 59 号（平成 28 年 4 月発行予定）
 - ② 第 60 号（平成 28 年 12 月発行予定）
- 8) 学術委員会
- ① 細胞検査士教育セミナー実施協力（セルフアセスメント）
 - ② 細胞検査士要望教育シンポジウム企画実行
 - ③ ヤングコミティワークショップ計画
 - ④ わからん会計画
 - ⑤ 口腔、子宮頸部ワークショップ（収益あり）
- 9) 国際委員会：第 8 回日・台・韓細胞検査士合同セミナー
2017 年 2 月 18-19 日 台湾
- 10) 情報委員会
- ① ctjssc.com（細胞検査士会 HP）CMS システム保守と運用
 - ② intercyto.com（インターネットサイトロジ-HP）CMS システム保守及び運用
特にデータ更新と運用プランニングを企画構築
 - ③ 委員長会議メーリングリストの管理運営
 - ④ 役員会と都道府県代表者会議に関するメーリングリストの構築、管理
 - ⑤ 会員専用パスワードの変更
- 11) 都道府県細胞検査士会代表者委員会
- ① 都道府県細胞検査士会との連携に関する規則類の整備
 - ② 平成 28 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
 - ③ 平成 28 年度第 2 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- 12) あり方委員会：細胞検査士意識調査アンケート実施（全会員対象）
- 13) 精度保証委員会
- ① 精度保証会議（総会時） ② 第 1 回セミナー会議 ③ 第 2 回セミナー会議
 - ④ 検体マニュアル作成会議
 - ⑤ 養成 WS 第 1 回 ⑥ 養成 WS 第 2 回 ⑦ 初心者細胞検査士 WS
- 14) 子宮頸がん検診委員会
- ① 第 57 回日本臨床細胞学会総会で啓発パネル展示を行う
 - ② 第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会で啓発パネル展示を行う
 - ③ 他関連団体（婦人科がん検診学会等）で啓発パネル展示を行う
 - ④ 一般市民向けにポスターを作成し、都道府県で実施する啓発活動へ貸出する
 - ⑤ LBC の臨床的有用性とコストエビデンスを調査する
- 15) 細胞検査士会創立 50 周年記念事業準備委員会
- ① 50 周年記念事業実施要綱を作成する。
 - ② 50 周年記念事業準備委員会で検討した事業を実現するための組織を作り、事業に関する具体的な企画等を引き継ぐ

2. 平成 28 年度予算

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 平成28年度(2016年度)予算

収入の部

科目	金額	備考
参加費	2,624,000	ワークショップ60人×8000円×2回、養成ワークショップ(0000円×160名)、初心者ワークショップ(4000円×40名)
入会金、年会費	11,289,060	*) 50周年記念事業準備金3,000,000円含む
郵送費、集金事務費	150,000	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)
収入合計	14,063,060	

*) 50周年記念事業準備金:検査士会記念事業準備金口座へ移動
三菱東京UFJ銀行 店番013 口座番号 0514406

支出の部 委員会 科目	管 理 費						事業費	管 理 費						事業費	合計
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	精度保証	渉外	都道府県代表	規約	国際	あり方	*) 50周年記念事業準備金	学術	
通信運搬費	120,000	40,000	437,400	2,000	40,000	1,280,000	30,560	180,000	4,320	-	5,000	20,000	-	100,280	2,259,560
旅費交通費	629,000	140,000	-	100,000	-	-	820,000	30,000	-	25,000	20,000	100,000	-	200,000	2,064,000
印刷製本費	60,000	-	-	-	-	1,600,000	900,000	450,000	-	-	100,000	225,000	-	400,000	3,735,000
消耗品費	60,000	20,000	-	5,000	10,000	100,000	8,000	10,000	-	-	5,000	-	-	20,000	238,000
消耗什器備品費	-	-	-	-	-	30,000	-	-	-	-	-	-	-	-	30,000
臨時雇賃金	50,000	-	-	-	10,000	-	140,000	-	-	-	-	-	-	60,000	260,000
会議費	334,000	44,000	-	20,000	-	-	210,000	40,000	104,000	10,000	20,000	30,000	-	44,000	856,000
会場費	300,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30,000	330,000
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
接待交際費	50,000	-	-	-	10,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60,000
諸謝金	-	-	-	-	-	-	400,000	-	-	-	20,000	-	-	360,000	780,000
雑費	320,000	-	5,000	2,000	-	28,000	140,000	-	1,500	-	10,000	-	-	40,000	546,500
支払負担金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,000,000	-	3,000,000
合計	1,923,000	244,000	442,400	129,000	70,000	3,038,000	2,648,560	710,000	109,820	35,000	180,000	375,000	3,000,000	1,254,280	14,159,060

支出合計	14,159,060
------	------------

以上の通り、平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の細胞検査士会予算案を計上します。

平成28年1月9日 細胞検査士会
会計担当 阿部 仁
会 長 伊藤 仁

3号議案 「公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士会に関する施行細則」
の変更

公益社団法人 日本臨床細胞学会細胞検査士会に関する施行細則の変更

改 定 前	改 定 案
附 則	附 則
<p>1. この施行細則は、公益法人の公益認定を受けた日から施行する。</p> <p>2. 平成 25 年 6 月 2 日 一部改定施行。</p> <p>3. 当分の間、細胞検査士会年会費は 1,000 円、入会金は 2,000 円とし、年会費は入会時及び更新時に 4 年分前納とする。</p> <p>4. 平成 26 年 6 月 7 日 一部改定施行。</p>	<p>1. この施行細則は、公益法人の公益認定を受けた日から施行する。</p> <p>2. 平成 25 年 6 月 2 日 一部改定施行。</p> <p>3. 当分の間、細胞検査士会年会費は 1,000 円、入会金は 2,000 円とし、年会費は入会時及び更新時に 5 年分前納とする。ただし平成 27 年に施行された第 49 回細胞診検査士資格認定試験合格者の入会時は 4 年分前納とする。</p> <p>4. 平成 26 年 6 月 7 日 一部改定施行。</p> <p>5. 平成 28 年 5 月 28 日 一部改定施行。</p>

Ⅲ. その他